

**(インターネット・はがき等で寄せられた意見)**

## **04. 霞ヶ浦ブロック**

## 利根川水系河川整備計画 関係住民からの意見聴取(インターネット・はがき等)

受付番号	年代	性別	住所	意見および質問	回答
1	60歳以上	男性	茨城県 行方市	<p>波浪対策を望む。</p> <p>YP.+1.3mが必要なほど工水・上水の需要があるのか疑問。YP+1.1m以下での運用を望む。</p> <p>洪水時、利根川に排水できない場合、霞ヶ浦の水位は高いままであり、排水機場の運転時間が長くなる。そこで、常陸川水門そばに大きな排水機場の設置を提案。利根川水位が高いときにも霞ヶ浦の水位低下を図って欲しい。</p>	<p>霞ヶ浦の洪水対策は、戦後最大規模を記録した平成3年10月洪水と同規模の洪水(概ね30年に一度発生する規模の洪水)のY.P.+2.50mの水位を安全に貯留し、かつ、安全に流下させるため、築堤を実施します。</p> <p>波浪対策については、概ね30年に一度発生する規模の波浪等に対応するため、緊急度の高い箇所から実施します。</p> <p>具体的には、現堤防の護岸の強化、堤防前面の緩傾斜化、消波堤および前浜等の対策を引き続き行います。</p> <p>対策の実施にあたっては、関係自治体等との調整、連携を図るとともに、動植物の生息・生育環境や景観、および平常時の利用等に配慮したうえで、詳細な検討を行います。</p> <p>霞ヶ浦の水位は、常陸川水門の操作により霞ヶ浦開発事業の治水・利水の目標を達成するとともに、環境にも配慮した管理を実施します。</p> <p>管理目標水位は、霞ヶ浦の周辺環境を考慮して、4月から10月中旬まではY.P.+1.1mを中心に管理し、11月中旬から2月末まではかんがい期の水利用に備えるためにY.P.+1.3mを目標に管理することとしています。なお、水利用と湖の水辺環境との共存を模索するため、水位運用試験を実施しています。</p> <p>整備計画で想定する以上の洪水時における霞ヶ浦の水位を計画高水位以下に抑制するための水位低下対策を検討します。</p>

受付番号	年代	性別	住所	意見および質問	回答
2	40代	男性	茨城県 行方市	柳、ヨシ等の植物等の回復を望む。これにより水質改善に繋がり、湖水浴場も復活する。	<p>湖岸の保全・再生対策としては、湖岸堤の前面に残された植生帯の減退が大きい地区について、霞ヶ浦のシードバンク(埋土種子)を活用した、植生の生育場の整備を実施します。 整備にあたっては、現在までに実施してきた湖岸保全・再生の各種工法のモニタリングから得られた知見を活かし、詳細を検討のうえ実施するものとします。</p> <p>また、人々が霞ヶ浦の水辺に親しめるよう親水拠点を整備します。整備にあたっては、過去における景観、歴史、文化等を踏まえつつ、地域の特性および多くの方々の利用に供するためユニバーサルデザインに配慮するほか、小中学校等における総合的な学習での利用など、地域住民および関係機関と連携して実施します。整備場所については、地域計画および地域のニーズを踏まえ、地域からの支援、連携が得られる箇所から選定します。</p> <p>河川区域内に流入、投棄されるゴミ等を減らすため、監視を行い、地域住民等の参加による河川の美化・清掃活動を自治体と連携して支援し河川美化の意識向上を図るとともに、市民と協働で行う河川環境管理の活用等、関係自治体や警察と連携し促進します。</p> <p>網いけす養殖業に係る汚濁負荷対策については、「第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画」に餌料の投与、死魚の適正処理に関する基準の遵守の徹底、改善餌料の使用、生産規模の削減などと記載されています。</p> <p>現在、湖岸堤防の道路は、地方道として認定してもらうことを関係市町村に働きかけており、認定された区間の規則等については、道路交通法にもとづく警察の判断となります。また、認定されていない区間については、規制等ができないので、管理上危険があると思われる場合は、乗り入れ制限等を検討していきます。</p>
				子ども達が遊べる場所の整備を望む。	
				清掃活動で周辺自治体及び集落の協力を得られるよう配慮を望む。	
				水質改善のため、網生け簀の全廃を望む。	
				堤防道路の通行車両の速度制限を望む。	

受付番号	年代	性別	住所	意見および質問	回答
3	60歳以上	女性	茨城県 潮来市	40年前は湖岸にヨシ・マコモや藻が生えていた。藻を肥料にして作付けした。湖の水でお茶を沸かした。	<p>湖岸の保全・再生対策としては、湖岸堤の前面に残された植生帯の減退が大きい地区について、霞ヶ浦のシードバンク(埋土種子)を活用した、植生の生育場の整備を実施します。</p> <p>整備にあたっては、現在までに実施してきた湖岸保全・再生の各種工法のモニタリングから得られた知見を活かし、詳細を検討のうえ実施するものとします。</p> <p>地域の人が安全に使用できるように、学校、市民団体、関係機関等と連携し、河川における環境教育の支援を行います。</p> <p>常陸川水門によって、利根川からの洪水の逆流防止および塩害の防除を目的とした水位管理を行うようになった昭和50年以降は、塩害が発生していません。今後も常陸川水門により塩害の被害がでないよう適切な運用を図ります。</p>
				堤防整備により湖岸植生がなくなった。	
				堤防から落下・溺死など子どもの水難事故がなくなるよう整備を求む。	
				水質改善のため常陸川水門の開放を望む。(農水への影響を考慮の上)	
4	60歳以上	男性	茨城県 稲敷郡美浦村	浚渫を実施している湖心部は魚にとって良環境となり魚が回遊しなくなった。そのため回遊待ち定置網漁は6年間不漁である。魚の回遊促進のため、全面浚渫を望む。	<p>浚渫については、第5期水質保全計画より必要な場所を実施します。</p> <p>湖岸の保全・再生対策としては、湖岸堤の前面に残された植生帯の減退が大きい地区について、霞ヶ浦のシードバンク(埋土種子)を活用した、植生の生育場の整備を実施します。</p> <p>整備にあたっては、現在までに実施してきた湖岸保全・再生の各種工法のモニタリングから得られた知見を活かし、詳細を検討のうえ実施するものとします。</p> <p>霞ヶ浦の自然・歴史・文化・生活等の地域特性を踏まえて、沿岸住民及び関係行政機関等と連携して検討していきます。</p> <p>霞ヶ浦の洪水対策は、戦後最大規模を記録した平成3年10月洪水と同規模の洪水(概ね30年に一度発生する規模の洪水)のY.P.+2.50mの水位を安全に貯留し、かつ、安全に流下させるため、築堤を実施します。波浪対策については、概ね30年に一度発生する規模の波浪等に対応するため、緊急度の高い箇所から実施します。</p> <p>具体的には、現堤防の護岸の強化、堤防前面の緩傾斜化、消波堤および前浜等の対策を引き続き行います。</p> <p>対策の実施にあたっては、関係自治体等との調整、連携を図るとともに、動植物の生息・生育環境や景観、および平常時の利用等に配慮したうえで、詳細な検討を行います。</p>
				水生植物を繁茂させるため、霞ヶ浦の湖岸全体に消波堤の整備を望む。沖出しは堤防より50m程度が望ましい。	
				水位上昇と波浪により水神宮が水没するので対処を望む。	
				台風時に霞ヶ浦水位が漁港防波堤と同じ高さになり危険。漁港周辺の防波堤高を高くして欲しい。	

受付番号	年代	性別	住所		意見および質問	回答
5	50代	男性	茨城県	行方市	浚渫土を利用したミズアオイ再生事業の霞ヶ浦全域への拡大を望む。	湖岸の保全・再生対策としては、湖岸堤の前面に残された植生帯の減退が大きい地区について、霞ヶ浦のシードバンク(埋土種子)を活用した、植生の生育場の整備を実施します。 整備にあたっては、現在までに実施してきた湖岸保全・再生の各種工法の実績から得られた知見を活かし、詳細を検討のうえ実施するものとします。  人々が霞ヶ浦の水辺に親しめるよう親水拠点を整備します。整備にあたっては、過去における景観、歴史、文化等を踏まえつつ、地域の特性および多くの方々の利用に供するためユニバーサルデザインに配慮するほか、小中学校等における総合的な学習での利用など、地域住民および関係機関と連携して実施します。整備場所については、地域計画および地域のニーズを踏まえ、地域からの支援、連携が得られる箇所から選定します。
					自然公園として湖心に20～30haの浮島の造成を望む。 環境・自然再生による経済活性化の視点が必要。	
6	-	-	茨城県	稲敷市	共同漁業権内の水域に、常態の水位では視認できない岩礁が2箇所ある。他県等からの遊漁船やレジャー船は殆どがこの岩礁の存在を知らないため、危険性は高いと考える。 危険標識は夜間でも視認できるような機能を備えた施設の設置を要望する。	通常水位で視認できない天然岩礁(2箇所)については、位置、高さに関する調査を実施した上で、視認できるような措置を講じていきます。

受付番号	年代	性別	住所	意見および質問	回答
7	-	-	茨城県 土浦市	<p>自然浄化機能の回復保全のため、前浜の造成及び水生植物帯の造成が必要。</p> <p>造成地の保護、流出防止のため、消波施設の設置を望む。</p> <p>水産資源の回復のため、ヘドロ浚渫の実施を要望する。</p> <p>成熟したハクレンを回収することで、斃死予防と窒素・リンの回収が可能となる。</p> <p>水位の上昇により造成した前浜や自然のヨシ帯が流出の危険に晒されている。 前浜・ヨシ帯の維持のため、平水位の維持を要望する。</p>	<p>湖岸の保全・再生対策としては、湖岸堤の前面に残された植生帯の減退が大きい地区について、霞ヶ浦のシードバンク(埋土種子)を活用した、植生の生育場の整備を実施します。整備にあたっては、現在までに実施してきた湖岸保全・再生の各種工法のモニタリングから得られた知見を活かし、詳細を検討のうえ実施するものとします。</p> <p>また、具体的には、現堤防の護岸の強化、堤防前面の緩傾斜化、消波堤および前浜等の対策を引き続き行います。</p> <p>対策の実施にあたっては、関係自治体等との調整、連携を図るとともに、動植物の生息・生育環境や景観、および平常時の利用等に配慮したうえで、詳細な検討を行います。</p> <p>水質改善対策の一環として、霞ヶ浦の底泥からの汚濁負荷溶出の削減を図ることを目的に、底泥中の栄養塩濃度の高い箇所について浚渫を実施します。また、浚渫に代わる底泥溶出対策の検討も行います。</p> <p>第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画では、漁獲による浄化対策として「外来魚等の回収を図るなどして、漁獲による窒素およびリンの湖外への持ち出しを促進する」こととされており、年間400トンの外来魚の回収を見込んでいます。河川管理者としては、関係機関と調整を図りながら、魚類の捕獲(湖外への持ち出し)による水質改善対策の可能性について検討していきます。</p> <p>霞ヶ浦の水位は、常陸川水門の操作により霞ヶ浦開発事業の治水・利水の目標を達成するとともに、環境にも配慮した管理を実施します。</p> <p>管理目標水位は、霞ヶ浦の周辺環境を考慮して、4月から10月中旬まではY.P.+1.1mを中心に管理し、11月中旬から2月末まではかんがい期の水利用に備えるためにY.P.+1.3mを目標に管理することとしています。なお、水利用と湖の水辺環境との共存を模索するため、水位運用試験を実施しています。</p>

受付番号	年代	性別	住所	意見および質問	回答
8	50代	男性	茨城県 行方市	<p>水位をYP+1.1m以下で管理して欲しい。 さもなくば、農地の維持が困難なため、自動排水機場の設置を望む。</p> <p>大雨と強風で破損した樋管の補修を望む。</p>	<p>霞ヶ浦の水位は、常陸川水門の操作により霞ヶ浦開発事業の治水・利水の目標を達成するとともに、環境にも配慮した管理を実施します。</p> <p>管理目標水位は、霞ヶ浦の周辺環境を考慮して、4月から10月中旬まではY.P.+1.1mを中心に管理し、11月中旬から2月末まではかんがい期の水利用に備えるためにY.P.+1.3mを目標に管理することとしています。なお、水利用と湖の水辺環境との共存を模索するため、水位運用試験を実施しています。</p> <p>許可工作物については、河川管理上の支障とならないよう履行検査等により監視し、施設管理者に対して適切な指導を行います。</p>
9	60歳以上	男性	茨城県 行方市	<p>飲料水の水源であることの啓発を大規模に行うことが必要である。合わせて水質監視員制度の強化、人材育成に国から財政的支援を。</p> <p>植生再生や砂浜整備について、計画段階から民間の参画を。</p> <p>ゴミ問題について、植生保全計画に恒久的管理対策を盛り込むことが必要。それまでの間は、周辺住民組織等へ清掃を委託する等の暫定措置が必要。</p>	<p>第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画の策定にあわせて、霞ヶ浦の汚濁負荷削減の取り組みを実行性のあるものとするために茨城県の『霞ヶ浦水質保全条例』が改正されました。茨城県は地域の集会や関係団体に対して説明会を行うとともに、相談指導員による説明、個別指導を行うこととしています。また、パンフレットの作成配布による条例の周知を図るとしています。</p> <p>河川管理者としても、霞ヶ浦の水質調査を定期的、継続的に実行し、動植物の生息・生育環境や水利用に対する影響等を把握するとともに、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画と整合を図り、水質の改善に努めます。特に、流入河川の水質についても適切にモニタリングを行い、霞ヶ浦への流入負荷量を把握するとともに、関係機関と連携し、霞ヶ浦の水質改善に努めます。</p> <p>また、地域住民の水質への関心を高めるため、分かりやすい指標を用いた水質調査および水生生物を指標とした水質調査等を、子どもたちの環境学習の一環として、学校等と連携して実施します。</p> <p>湖岸の保全・再生対策としては、湖岸堤の前面に残された植生帯の減退が大きい地区について、霞ヶ浦のシードバンク(埋土種子)を活用した、植生の生育場の整備を実施します。整備にあたっては、現在までに実施してきた湖岸保全・再生の各種工法のモニタリングから得られた知見を活かし、詳細を検討のうえ実施するものとします。</p> <p>また、河川区域内に流入、投棄されるゴミ等を減らすため、監視を行い、地域住民等の参加による河川の美化・清掃活動を自治体と連携して支援し河川美化の意識向上を図るとともに、市民と協働で行う河川環境管理の活用等、関係自治体や警察と連携し促進します。</p>

受付番号	年代	性別	住所		意見および質問	回答
					<p>波浪緩衝堤の急速な整備を期待する。</p> <p>堤防整備や波浪対策およびその維持管理の必要性に関して、住民参加の意識向上が必要。『花の堤防づくり』キャンペーン等の展開の一考を。</p>	<p>霞ヶ浦の洪水対策は、戦後最大規模を記録した平成3年10月洪水と同規模の洪水(概ね30年に一度発生する規模の洪水)のY.P.+2.50mの水位を安全に貯留し、かつ、安全に流下させるため、築堤を実施します。</p> <p>波浪対策については、概ね30年に一度発生する規模の波浪等に対応するため、緊急度の高い箇所から実施します。</p> <p>具体的には、現堤防の護岸の強化、堤防前面の緩傾斜化、消波堤および前浜等の対策を引き続き行います。</p> <p>対策の実施にあたっては、関係自治体等との調整、連携を図るとともに、動植物の生息・生育環境や景観、および平常時の利用等に配慮したうえで、詳細な検討を行います。</p> <p>なお、適正な河川整備を行うために、情報発信等を行い市民と連携した整備を展開するほか、霞ヶ浦の河川情報については、わかりやすい情報提供に努めます。</p>
10	60歳以上	男性	東京都	品川区	<p>旧予科練地区には堤防がないが、旧海軍基地創設当初から水災害の例は無く、堤防築堤は税金の無駄遣いである。</p> <p>旧予科練の斜面施設は、築堤せずに保存保護を求める(組合で水上飛行機開発プロジェクトを実行中で、成功すれば地域の活性化も期待できる)。</p>	<p>美浦村大山地区のスロープ(斜路)については、護岸としての機能が維持できるように維持管理していきます。</p> <p>大山地区の築堤は、その形状や構造等について、現地の利用状況、歴史・文化等の側面を考慮し、詳細を検討のうえ実施します。</p>
11	50代	女性	茨城県	土浦市	<p>バイオパークは、環境教育の場や楽しみの場として利用できるため、整備(維持)を求める。</p>	<p>土浦バイオパークは、流域住民の皆さんが訪れて水生植物等を収穫して頂くことで水質浄化に役立つ施設であり、環境学習等にも利用されていることから、利用状況を把握しながら、適切な維持管理を考えていきたいと思いをします。</p>



受付番号	年代	性別	住所		意見および質問	回答
12	60歳以上	女性	茨城県	土浦市	行動を促すようなインパクトのある理念に。	霞ヶ浦の河川整備計画では、下記の基本理念を掲げるものとします。  私たちが将来にわたって霞ヶ浦と持続的に関わっていくためには、私たちの営みと霞ヶ浦との調和が欠かせません。霞ヶ浦の豊かな恵みとともに安らかな生活を享受し、また、これからも営々と霞ヶ浦と共生していくためには、霞ヶ浦の魅力を再生することが必要です。 ここに基本理念「安らかさと豊かさを実感できる霞ヶ浦」を掲げ、流域全体としてこれを共有し、流域の多様な主体との幅広い連携を講じながら、行動します。
13	60歳以上	女性	茨城県	土浦市	湖内湖浄化施設の整備の拡大を求める。霞ヶ浦流入前にゴミなどを取り除く。  流入河川のゴミを処分して欲しい。	河川区域内に流入、投棄されるゴミ等を減らすため、監視を行い、地域住民等の参加による河川の美化・清掃活動を自治体と連携して支援し河川美化の意識向上を図るとともに、市民と協働で行う河川環境管理の活用等、関係自治体や警察と連携し促進します。
14	50代	女性	茨城県	土浦市	洪水対策、波浪対策の強化として、福祉行政との連帯を視野に、安全・安心の提供を望む。	人々が霞ヶ浦の水辺に親しめるよう親水拠点を整備します。整備にあたっては、過去における景観、歴史、文化等を踏まえつつ、地域の特性および多くの方々の利用に供するためユニバーサルデザインに配慮するほか、小中学校等における総合的な学習での利用など、地域住民および関係機関と連携して実施します。整備場所については、地域計画および地域のニーズを踏まえ、地域からの支援、連携が得られる箇所から選定します。
15	50代	女性	茨城県	土浦市	湖岸にレストランの整備をして欲しい。	地方自治体が占用する場合に限り、河川区域の中でも、社会実験として、レストラン等の営業を、制限付きで、許可する制度があります。

受付番号	年代	性別	住所	意見および質問	回答
16	60歳以上	男性	茨城県 稲敷郡美浦村	船溜り周辺に防波ブロックの整備を求む。	<p>霞ヶ浦の洪水対策は、戦後最大規模を記録した平成3年10月洪水と同規模の洪水(概ね30年に一度発生する規模の洪水)のY.P.+2.50mの水位を安全に貯留し、かつ、安全に流下させるため、築堤を実施します。</p> <p>波浪対策については、概ね30年に一度発生する規模の波浪等に対応するため、緊急度の高い箇所から実施します。</p> <p>霞ヶ浦の水位は、常陸川水門の操作により霞ヶ浦開発事業の治水・利水の目標を達成するとともに、環境にも配慮した管理を実施します。</p> <p>管理目標水位は、霞ヶ浦の周辺環境を考慮して、4月から10月中旬まではY.P.+1.1mを中心に管理し、11月中旬から2月末まではかんがい期の水利用に備えるためにY.P.+1.3mを目標に管理することとしています。なお、水利用と湖の水辺環境との共存を模索するため、水位運用試験を実施しています。</p> <p>湖岸の保全・再生対策としては、湖岸堤の前面に残された植生帯の減退が大きい地区について、霞ヶ浦のシードバンク(埋土種子)を活用した、植生の生育場の整備を実施します。整備にあたっては、現在までに実施してきた湖岸保全・再生の各種工法のモニタリングから得られた知見を活かし、詳細を検討のうえ実施するものとします。</p> <p>河川区域内に流入、投棄されるゴミ等を減らすため、監視を行い、地域住民等の参加による河川の美化・清掃活動を自治体と連携して支援し河川美化の意識向上を図るとともに、市民と協働で行う河川環境管理の活用等、関係自治体や警察と連携し促進します。</p> <p>堤防小段については、舗装等の防塵対策を行います。</p>
				水位を下げて欲しい。ヨシの流出により魚の産卵場所が喪失している。	
				ゴミ処理問題について考慮を求める。	
				土手下の道路整備・舗装を求む。	

受付番号	年代	性別	住所	意見および質問	回答
17	-	-	茨城県 神栖市	常陸川水門の新たな魚道整備については、利水の観点から細心の検討を願いたい。魚道設置により塩分濃度の上昇等の水質変化に伴う農作物や農業水利施設への被害など悪影響がないよう十分対策を計られたい。	<p>常陸川水門の魚道設置については霞ヶ浦および利根川の水域の連続性を確保し、魚類等の遡上・降下環境を改善するため、平成19年度より魚道整備を行っています。</p> <p>なお、常陸川水門は塩害の防除が1つの目的となっているため、塩害による影響がないように十分な対策を行います。</p> <p>既に水質調査を実施しており、結果の公表もしています。これらの活動は、今後も継続していきます。</p> <p>工事については、関係者および関係機関に十分な説明を行っていきます。</p> <p>河川管理者としては、現在霞ヶ浦でのカワヒバリガイの情報を収集しているところです。</p> <p>河川管理上支障となるものは外来種にかかわらず、適切に対処します。</p> <p>なお、許可工作物における被害については、施設管理者による対応をお願いします。</p>
				常陸川水門の新たな魚道整備に伴い、利水の観点から悪影響が危惧されるため、塩分濃度等の観測体制の強化を行い、結果を公表されたい。	
				工事を行う際には、関係者に十分に周知・調整の上、進められたい。	
				カワヒバリ貝と思われる貝が用水施設に付着し、目詰まり等の利水障害が生じているので、調査、駆除対策をとられたい。	
18	-	-	茨城県 土浦市	霞ヶ浦に負荷をもたらさないという意識の、流域全体での共有が肝要。行政、住民、事業者一体となった霞ヶ浦からの啓発が求められる。	<p>人々が霞ヶ浦の水辺に親しめるよう親水拠点を整備します。整備にあたっては、過去における景観、歴史、文化等を踏まえつつ、地域の特性および多くの方々の利用に供するためユニバーサルデザインに配慮するほか、小中学校等における総合的な学習での利用など、地域住民および関係機関と連携して実施します。整備場所については、地域計画および地域のニーズを踏まえ、地域からの支援、連携が得られる箇所から選定します。</p> <p>霞ヶ浦では、多くの市民団体等が多種多様な目的をもって活動しています。河川清掃等の維持管理にあたっては、環境・福祉等の様々な分野のNPO団体等と連携し、より細やかな維持管理を図ります。</p> <p>また、地域住民や利用者等の意見を幅広く聞くため、霞ヶ浦意見交換会および霞ヶ浦ふれあい巡視を継続的に開催します。</p> <p>河川整備の実施にあたっては、河川のみならず、必要に応じて河川周辺的环境も把握したうえで河川整備に活かします。</p> <p>また、霞ヶ浦流域の歴史および文化等の地域特性も踏まえて、治水、利水、環境および利用を一体的に捉え、それぞれの目標が調和しながら達成されるよう、総合的な視点で整備します。</p>
				霞ヶ浦を含め、流域の河川水路に自然を取り戻したい。国・県・市町村の連携が求められる。	
				霞ヶ浦の歴史・民俗・文化への眼差しを保ち、文化の継承と創造の気概を持つことを考えて欲しい。	
				沿岸住民と連携して整備・維持管理を進めることも大切。	

受付番号	年代	性別	住所	意見および質問	回答
19	-	-	茨城県 稲敷市	<p>古渡漁業協同組合漁場内における粗朶消波工からの粗朶流出により、消波機能を果たしていない。 粗朶消波工に石をつめるか、金網で石を包んだブロックを投入等の処置を願いたい。</p> <p>水位を30cm下降させることが望ましい。浅場面積の増大、植物帯の面積拡大、水質浄化に寄与する。</p>	<p>既存の粗朶消波工については、現地の波浪状況や植生の保全・再生状況等を総合的に判断して、補修や撤去等の検討を実施し対応していきます。</p> <p>霞ヶ浦の水位は、常陸川水門の操作により霞ヶ浦開発事業の治水・利水の目標を達成するとともに、環境にも配慮した管理を実施します。 管理目標水位は、霞ヶ浦の周辺環境を考慮して、4月から10月中旬まではY.P.+1.1mを中心に管理し、11月中旬から2月末まではかんがい期の水利用に備えるためにY.P.+1.3mを目標に管理することとしています。なお、水利用と湖の水辺環境との共存を模索するため、水位運用試験を実施しています。</p>
20	-	-	茨城県 土浦市	<p>水質改善のため、霞ヶ浦と利根川周辺の河川整備を行い、霞ヶ浦の循環機能の更なるレベルアップを計画してほしい。</p>	<p>水質については、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画の長期的な目標である、昭和40年代前半の水質COD5mg/l台前半の「泳げる霞ヶ浦」を目指して、湖内対策の事業を推進します。</p> <p>具体的には、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画と整合を図りつつ、流域の関係機関と連携し、流入負荷量及び湖内水質について定期的、継続的にモニタリングを行います。併せて、継続事業(大規模浚渫、霞ヶ浦導水)の早期完成を目指すとともに、湖内湖浄化施設、底泥溶出対策等、流域対策を補う湖内対策を実施します。また、北浦における水質改善については、浄化用水を含めた効果的な水質改善対策について関係機関と検討します。</p> <p>霞ヶ浦導水事業は、霞ヶ浦と桜川等の水質浄化、那珂川と利根川へ既得用水等の補給、茨城県等の新規都市用水の確保を目的として、那珂川下流部、霞ヶ浦及び利根川下流部を連絡する流況調整河川(流況の異なる2つ以上の河川を水路で結び、相互の導水を行い、それぞれの河川の流況を改善する施設。)を建設するものです。</p> <p>霞ヶ浦導水が完成すると、那珂川から最大毎秒15m<sup>3</sup>、利根川から最大毎秒25m<sup>3</sup>を霞ヶ浦に導水することにより、流域対策、湖内対策などと相まって、霞ヶ浦の水質浄化を図ります。更に那珂川からの導水量のうち最大毎秒3m<sup>3</sup>を桜川に導水することで水質浄化を図り、千波湖の水質浄化にも寄与します。</p> <p>また、那珂川の渇水時には、利根川下流部及び霞ヶ浦から最大毎秒11m<sup>3</sup>を、利根川の渇水時には、那珂川下流部及び霞ヶ浦から最大毎秒25m<sup>3</sup>を導水することにより、渇水による被害を軽減させ、川の環境を守ります。</p> <p>更に、1都3県(茨城県、埼玉県、千葉県、東京都)の水需給に応えるため、都市用水として最大約9m<sup>3</sup>/sを供給する施設です。現在、河川の水量が豊富なときに取水できる暫定豊水水利権として毎秒約3m<sup>3</sup>(約30%)が既に使われており、早急に暫定豊水水利権の解消を図るべく安定した水供給の水源確保が重要であると考えています。</p> <p>霞ヶ浦導水の建設にあたっては、周辺の自然環境に配慮し、必要に応じて専門家の意見を聴きながら環境対策等を実施しています。</p> <p>上記の理由から、河川管理者としては事業を早期に完成させ、効果を発現させる必要があると考えています。</p> <p>今後とも地元関係者、関係自治体のご理解とご協力を得ながら、早期完成を目指します。</p>

受付番号	年代	性別	住所		意見および質問	回答
21	-	-	茨城県	稲敷市	共同漁業権内水域に不法係留船がある。漁協としてはどのような権限を有するわからない。	不法係留船対策については、計画的な対策を検討していきます。
22	70歳以上	男性	茨城県	土浦市	<p>霞ヶ浦水質保全の原則を確立する。汚したものが責任を負う。水質管理権を霞ヶ浦問題協議会へ移管、河川局は間接的管理とする。水質低迷の説明責任を果たすべき。</p> <p>上記42と統合</p> <p>川筋毎に消防団類似の水質ボランティア組織立ち上げ。</p> <p>植物による水質浄化。およびその植物を資源とするバイオマス地場産業化。</p> <p>茨城県の環境税新設前の20年にわたる血税浪費(例:粗朶沈床の整備等)の責任を明確にし、再発防止策を確立しなければならない。</p> <p>泳げる霞ヶ浦の実現は、住民の力を出せる仕組みづくりが必要。</p>	<p>水質については、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画の長期的な目標である、昭和40年代前半の水質COD5mg/l台前半の「泳げる霞ヶ浦」を目指して、湖内対策の事業を推進します。</p> <p>具体的には、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画と整合を図りつつ、流域の関係機関と連携し、流入負荷量及び湖内水質について定期的、継続的にモニタリングを行います。併せて、継続事業(大規模浚渫、霞ヶ浦導水)の早期完成を目指すとともに、湖内湖浄化施設、底泥溶出対策等、流域対策を補う湖内対策を実施します。また、北浦における水質改善については、浄化用水を含めた効果的な水質改善対策について関係機関と検討します。</p> <p>また、河川管理者として学校、市民団体、関係機関等と連携し、水辺の楽校を整備するなど、河川を活用した環境教育の支援や環境教育における指導者、市民団体間の連携および次世代の人材育成に関係機関等と連携して取り組むとともに、地域住民の水質への関心を高めるため、わかりやすい指標を用いた水質調査および水生生物を指標とした水質調査等を、子供たちの環境学習の一環として学校等と連携して実施します。</p> <p>さらに、適正な河川整備を行うために、情報発信等を行い市民と連携した整備を展開するほか、霞ヶ浦の河川情報については、わかりやすい情報提供に努めます。</p>

受付番号	年代	性別	住所	意見および質問	回答
23	50代	男性	茨城県 土浦市	霞ヶ浦流域への農薬散布量はおよそ小型タンカー1隻分に相当する。薬剤による慢性毒性が水棲動植物に影響を与えている可能性がある。 水道水源としての安全性が求められる。	水道水源の安全性の向上については、富栄養化としての水質改善の観点、有害物質の流入蓄積の観点或いはご指摘のテロ対策の観点があり、河川管理者としても関係機関等からの幅広い情報収集体制を確保するとともに、河川点検・巡視時等による管理体制の徹底を図っています。 これらの問題解決には、流域・湖内のソフト・ハードの対策を複合的に進めていく必要があると考えています。今後ご提案の趣旨を踏まえ、茨城県をはじめとする関係行政機関、流域住民、関係団体と連携しながら、水道水源としての安全性の向上のための行動を継続していきたいと考えています。  霞ヶ浦や流入河川の治水安全度を向上させるため、過去営々と進められてきた治水事業によって、昔のような洪水はほとんど発生していません。湖岸の環境については、湖岸植生の保全・再生や拠点づくりなどの取り組みも始めています。それは昔の姿に戻すということではなく、安全安心を確保した上で今出来得る湖岸環境づくりを地域の人とともに考え、ともに実行していくことです。今後このような取り組みを通して出来るところから少しずつ進めていきたいと思っています。
				水道水源域のテロ対策措置として、水際への理由のない立ち入りの制限が必要。	
				化学物質還元、漁業資源確保並びにテロ対策を目的に、湖岸から100mぐらい沖合いまでアシで覆うべきである。 これは、湖岸から湖中へ異物を直接的に投棄するというようなことを防止するために有効な手段であると考え、湖岸帯植生などを確保する面からも検討が必要だと思ふ。	
				砂浜などふれあいの場を設ける検討をすべき。	
24	20代	男性	茨城県 牛久市	植生帯の復元は画一的に整備するのではなく、自然とどう共生していけるのかを考えたものをするべき。巨石を用いた工法は避けるべき。	湖岸の保全・再生対策としては、湖岸堤の前面に残された植生の減退が大きい地区について、霞ヶ浦のシードバンク(埋土種子)を活用した、植生の生育場の整備を実施します。 整備にあたっては、現在までに実施してきた湖岸保全・再生の各種工法のものモニタリングから得られた知見を活かし、詳細を検討のうえ実施するものとします。 なお、消波が必要とされる場合においては、使用する素材の特性や、維持管理を踏まえ、必要な機能を満たすような構造を検討します。
25	30代	男性	茨城県 稲敷郡美浦村	大山地区のスロープ部における築堤は反対。大山地区の無堤部区間については、台風時においても、背後地の土地利用等から、堤防を築造しなくても問題ない。また、浸水区域ではない。 水辺へのアクセスポイントとして有効活用すべき。	美浦村大山地区のスロープ(斜路)については、護岸としての機能が維持できるように維持管理していきます。  大山地区の築堤は、その形状や構造等について、現地の利用状況、歴史・文化等の側面を考慮し、詳細を検討のうえ実施します。 さらに、本地区の上流側には、洪水時における円滑な河川管理施設保全活動および緊急復旧活動を行う拠点として、土砂、コンクリートブロック等の資機材を保管する水防拠点を整備します。
				大山地区は事故対策や災害時の拠点としての整備を検討して欲しい。	
				大山地区のスロープ部については、必要最低限の整備でよい。	

受付番号	年代	性別	住所		意見および質問	回答
26	60代	男性	千葉県	八千代市	大山地区の歴史的にみて重要な施設の保存と補修を望む。	<p>美浦村大山地区のスロープ(斜路)については、護岸としての機能が維持できるよう維持管理していきます。</p> <p>大山地区の築堤は、その形状や構造等について、現地の利用状況、歴史・文化等の側面を考慮し、詳細を検討のうえ実施します。</p>
27	30代	男性	埼玉県	春日部市	<p>大山地区の築堤に反対。大山地区では、水上レジャーの利用が定着しており、スロープ利用の今後の継続が適切。</p> <p>スロープとその背後地は残し、旧海軍の施設跡の北西側に堤防を築造する。</p>	<p>美浦村大山地区のスロープ(斜路)については、護岸としての機能が維持できるよう維持管理していきます。</p> <p>大山地区の築堤は、その形状や構造等について、現地の利用状況、歴史・文化等の側面を考慮し、詳細を検討のうえ実施します。</p>
28	40代	男性	埼玉県	さいたま市桜区	<p>西浦は波浪対策が必要と実感しており、緊急的に地域住民の安全を確保する必要がある。</p> <p>工法はブロックだけでなく、自然石を有効に活用した景観配慮タイプなどの工夫を望む。</p>	<p>霞ヶ浦の洪水対策は、戦後最大規模を記録した平成3年10月洪水と同規模の洪水(概ね30年に一度発生する規模の洪水)のY.P.+2.50mの水位を安全に貯留し、かつ、安全に流下させるため、築堤を実施します。波浪対策については、概ね30年に一度発生する規模の波浪等に対応するため、緊急度の高い箇所から実施します。</p> <p>具体的には、現堤防の護岸の強化、堤防前面の緩傾斜化、消波堤および前浜等の対策を引き続き行います。</p> <p>対策の実施にあたっては、関係自治体等との調整、連携を図るとともに、動植物の生息・生育環境や景観、および平常時の利用等に配慮したうえで、詳細な検討を行います。</p>
29	60代	男性	東京都	足立区	<p>大山地区の築堤に反対。スロープの堤防化の根拠を示して欲しい。</p> <p>水上飛行機の行き来が不可能となる。</p>	<p>美浦村大山地区のスロープ(斜路)については、護岸としての機能が維持できるよう維持管理していきます。</p> <p>大山地区の築堤は、その形状や構造等について、現地の利用状況、歴史・文化等の側面を考慮し、詳細を検討のうえ実施します。</p>

受付番号	年代	性別	住所		意見および質問	回答
30	40代	男性	東京都	日野市	国際的に重要な野鳥の生息地(IBA)があり、保護・保全を望む。霞ヶ浦では、浮島の全域がこれにあたる。	オオセッカの生息地となる下流部のヨシ原や汽水域の干潟についてはできるだけ保全を図る考えですが、治水事業における必要性から掘削などを実施することになった場合は、モニタリング調査を実施し、必要に応じ学識経験者の意見を聴きながら保全措置や代替措置などの対策に努めます。 渡良瀬遊水地のヨシ原及び湿地などは良好な動植物の生息・生育・繁殖の場として河川環境の保全と再生を図っていきます。また、渡良瀬遊水地の湿地再生については、治水機能の効果向上をはかるとともに、「渡良瀬遊水地湿地保全・再生委員会」などの調査、検討に基づき段階的、順応的に自然環境への影響に配慮しながら実施します。
31	-	-	茨城県	土浦市	車の通行が可能になり、不法投棄が見られるようになった。 道路の拡張は不要。  湖岸の葉などとともに自然の草を利用した浄化に期待したい。	河川区域内に流入、投棄されるゴミ等を減らすため、監視を行い、地域住民等の参加による河川の美化・清掃活動を自治体と連携して支援し河川美化の意識向上を図るとともに、市民と協働で行う河川環境管理の活用等、関係自治体や警察と連携し促進します。  湖岸の保全・再生対策としては、湖岸堤の前面に残された植生帯の減退が大きい地区について、霞ヶ浦のシードバンク(埋土種子)を活用した、植生の生育場の整備を実施します。 整備にあたっては、現在までに実施してきた湖岸保全・再生の各種工法のモニタリングから得られた知見を活かし、詳細を検討のうえ実施するものとします。



受付番号	年代	性別	住所	意見および質問	回答
32	50代	男性	茨城県 土浦市	<p>住民、行政、活動団体、研究者等のネットワークづくりにより意識の高揚を望む。</p> <p>底泥を活用した燃料および電力利用、底泥を肥料として活用することを提案する。</p> <p>アシや浮き草、アオコにより、バクテリア、炭を作り再利用化を提案。</p> <p>散策道の整備、野鳥観察できる休憩所の整備をして欲しい。</p> <p>動植物の生息場としての、田と川をつなぐ用水路の整備をして欲しい。</p> <p>川へつなぐ山の整備をして欲しい。</p> <p>流入排水の水質改善を望む。</p>	<p>霞ヶ浦では、多くの市民団体等が多種多様な目的をもって活動しています。河川清掃等の維持管理にあっては、環境・福祉等の様々な分野のNPO団体等と連携し、より細やかな維持管理を図ります。</p> <p>また、地域住民や利用者等の意見を幅広く聞くため、霞ヶ浦意見交換会および霞ヶ浦ふれあい巡視を継続的に開催します。</p> <p>国土交通省の公共事業コスト構造改革プログラム・建設リサイクル推進計画2002に則り、コスト縮減・リサイクルを引き続き実施するとともに新技術の積極的な活用を行います。具体的には底泥浚渫土については、土地改良事業に有効活用しています。</p> <p>なお、直轄管理外における場合は、沿川自治体と連携を図り、推進していきます。</p> <p>過去においては、アオコの肥料化等を実施していた経緯もありますが、近年は霞ヶ浦においてアオコの発生は減少しています。アオコ発生時には、関係県及び市町村と協力して再利用を図ります。</p> <p>人々が霞ヶ浦の水辺に親しめるよう親水拠点を整備します。整備にあたっては、過去における景観、歴史、文化等を踏まえつつ、地域の特性および多くの方々の利用に供するためユニバーサルデザインに配慮するほか、小中学校等における総合的な学習での利用など、地域住民および関係機関と連携して実施します。整備場所については、地域計画および地域のニーズを踏まえ、地域からの支援、連携が得られる箇所から選定します。</p> <p>水質については、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画の長期的な目標である、昭和40年代前半の水質COD5mg/l台前半の「泳げる霞ヶ浦」を目指して、湖内対策の事業を推進します。</p> <p>具体的には、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画と整合を図りつつ、流域の関係機関と連携し、流入負荷量及び湖内水質について定期的、継続的にモニタリングを行います。併せて、継続事業(大規模浚渫、霞ヶ浦導水)の早期完成を目指すとともに、湖内湖浄化施設、底泥溶出対策等、流域対策を補う湖内対策を実施します。また、北浦における水質改善については、浄化用水を含めた効果的な水質改善対策について関係機関と検討します。</p>

受付番号	年代	性別	住所	意見および質問	回答
33	-	男性	茨城県 潮来市	<p>常陸川水門の再建には賛成である。その役割は洪水対策を主とすべきであると思う。 また、魚道の確保、漁船、観光船等の出入り口を確保して欲しい。</p> <p>鹿島工業地帯が工業用水を余り必要としなくなったので、工業用水と鹿行地区の上水道の水源として北浦の1/3を淡水湖として残し、残り2/3は元の汽水湖に戻し、昔の自然に戻すべきだと思う。</p> <p>塩害については、稲作等の苗の作付時には害はあっても、その後は余り害は出ないのではないかなと思う。 そこで、国交省なり農水省が公開実験をしてもらいたい。</p> <p>霞ヶ浦にもし海水を入れた場合、砂利採取跡の穴に塩水が沈殿し、無酸素状態になり危険であるという話も聞く。 そこで、公開実験で実証してもらいたい。事実であるならば水中ポンプを入れて掻き出せば良いと思う。</p> <p>洪水時に利根川水位が高い場合、常陸川水門からは排水出来ないとのこと。これでは洪水時に役に立たない。 堀割川を掘削、開通して海へ直接排水すべきである。その際、海水位が高く排水出来ない時はポンプ等の機械力を使っても排水すべきである。</p> <p>洪水被害を受けてからでは遅いため、今から備えて置くべきである。</p> <p>銚田市大洋地区と鹿嶋市大野地区の境付近に、鹿島灘から霞ヶ浦まで巾200m深さ10mの運河を掘削し、霞ヶ浦・北浦水系の洪水時に排水する。 この運河は普段は、観光船、漁船等を通行させ霞ヶ浦・北浦等と太平洋を結び逆水門を通る大周遊観光水路となり茨城の観光開発にもなる。</p> <p>H18年の豪雨には大水と北風にあおられて一部波が堤防を越えた為、現在の堤防をあと1m嵩上げすべきである。(もし1/3を汽水湖に戻した場合は必要でないかも知れない)</p>	<p>常陸川水門は、利根川からの洪水逆流防止と塩害を防止するために設置されています。霞ヶ浦は水道用水、工業用水、農業用水の水資源として多様に利用されていることから、今後も塩害を防止しながら、安定的に取水できるように管理していく必要があります。</p> <p>茨城県は、長期水需給計画「いばらき水のマスタープラン」を改訂しました。その中で、都市用水(水道+工業)の需要量を従来計画より縮小したことで生じた「余剰水」について、環境用水として活用することの検討や危機管理水量としての位置付けを図るとしています。</p> <p>常陸川水門の魚道設置については霞ヶ浦および利根川の水域の連続性を確保し、魚類等の遡上・降下環境を改善するため、平成19年度より魚道整備を行っています。</p> <p>なお、施設の更新については躯体、ゲート設備等の水門機能を継続して監視するとともに、施設の更新について検討します。</p> <p>霞ヶ浦の洪水対策は、戦後最大規模を記録した平成3年10月洪水と同規模の洪水(概ね30年に一度発生する規模の洪水)のY.P.+2.50mの水位を安全に貯留し、かつ、安全に流下させるため、築堤を実施します。</p> <p>波浪対策については、概ね30年に一度発生する規模の波浪等に対応するため、緊急度の高い箇所から実施します。</p> <p>流入する支川の排水対策として、浸水被害の状況、土地利用の状況および支川の整備状況を考慮し、必要に応じて対策を実施します。</p> <p>堤防の詳細点検を実施し、浸透等の外力に対しても安全なものとなるよう必要に応じて強化します。</p> <p>また、整備途上において、施設能力を超える自然の外力が発生した場合でも壊滅的な被害とならないように、河川管理施設の適正な維持管理、操作を行い、治水機能を最大限に発揮させるとともに、関係行政機関と連携して警戒避難体制等を強化します。</p>

受付番号	年代	性別	住所	意見および質問	回答
				<p>下水道事業の進展にともない湖水もきれいになってきたが、近年、北浦では汚れてきた。そのため、北浦湖底泥の浚渫をして欲しい。 浚渫深については、様々な問題はあるかと思うが、今後のことを考慮し、4、5m掘るとよい。</p>	<p>水質については、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画の長期的な目標である、昭和40年代前半の水質COD5mg/l台前半の「泳げる霞ヶ浦」を目指して、湖内対策の事業を推進します。 具体的には、第5期の霞ヶ浦に係る湖沼水質保全計画と整合を図りつつ、流域の関係機関と連携し、流入負荷量及び湖内水質について定期的、継続的にモニタリングを行います。併せて、継続事業(大規模浚渫、霞ヶ浦導水)の早期完成を目指すとともに、湖内湖浄化施設、底泥溶出対策等、流域対策を補う湖内対策を実施します。また、北浦における水質改善については、浄化用水を含めた効果的な水質改善対策について関係機関と検討します。</p> <p>湖岸の保全・再生対策としては、湖岸堤の前面に残された植生帯の減退が大きい地区について、霞ヶ浦のシードバンク(埋土種子)を活用した、植生の生育場の整備を実施します。 整備にあたっては、現在までに実施してきた湖岸保全・再生の各種工法のモニタリングから得られた知見を活かし、詳細を検討のうえ実施するものとし、ます。</p>
				<p>五十～八十メートル巾の前浜の整備をして欲しい。</p>	
				<p>上記49と統合</p>	
				<p>那珂川導水路よりの巴川を使っての北浦への導水</p>	
				<p>ヨシ・マコモ・ガマ等の植生復元による、自然の水質浄化だけでは限界があると思う。そのため、物理的、化学的、科学的、機械的にも試してみて良ければ採用して浄化浄水して行けばいつかはきれいになると思う。</p>	
				<p>湖内対策だけでなく、流入河川の浄化、下水や工場排水処理、ゴミ対策、化学物質の処理等も考えていかなければならない。 公共下水道等の整備費等を鑑みると、人間、家畜等の排泄物の処理として、『バイオトイレ』の普及を提案する。</p>	